

# 磐城時報

石城郡石城町千四十四番地  
印刷所 加納活版所  
電話 二一四  
代印所 磐城時報社  
電話 二一四  
印刷所 磐城時報社  
電話 二一四  
代印所 磐城時報社  
電話 二一四

## 石城民政黨の内紛を 大島代議士等が仲裁

### 若松、漆畑兩氏に豫告 兩派の態度注目さる

石城郡に於ける民政黨は普通選挙法が布かれて以來著るしく擡頭膨張した結果遂に内部に勢力争ひを起すに至り、過般の縣選挙會問題を直接動機として若松美三派、野崎滿藏派の兩派に分裂し衆議院議員改選に當つても互に反目對峙の態度に出で益々離反の傾向を示しつつあるが、本年は縣會議員の改選期でもあり兩派が反目してゐるは民政黨將來のためでないかと考へた、同黨福島縣支部では大島要三、菅村太事、太田三郎の三氏が調停の勞を取る事となり十四日若松美三氏並に野崎滿藏の漆畑元吉兩氏に三名連署で近く調停に赴くからそれまで總會を開かぬ事といふ書面が到達した、之に對し兩派では夫々態度決定について協議中である。

## 炭礦罹災者に 學童の義捐金

### 大倉校造花教授

石城郡赤井村第二小學校では過般般島炭坑の瓦斯爆發のため惨死した河津茂外六名の遺族に對する義捐金募集中の處十九圓余の餘金を見たので十五日夫々生徒に教授してゐるが、尙一般希望者には毎月曜日午後より教授

## 年々減少してゆく 常磐炭の出炭量

### 昨年は前年より廿六萬噸減 本年の出炭は二百萬内外か

常磐炭礦に於ける昭和五年度のれ二百萬噸の出炭が出来れば良大炭礦百九十六萬六千五百八噸で、古河の三好の方であらうと察せられる。その他の小炭礦三十二萬三千八百五十九噸を合せて二百二十八萬九千九百七十七噸で、昭和四年度の大炭礦の二百三十二萬二千七百二十二噸、小炭礦の三十三萬五千五百八十六噸合計二百六十六萬八千七百八十八噸に比較すると、一割五分の出炭減であるが、昭和六年度の豫想では前年度より更に五分内外の出炭減を豫想さ

## 田部部落 消防獨立

四倉町字田部部落の消防組員は、同町第三部本町組に屬してゐたが、獨立しなくては不便が多いので、近く第五部として獨立する事となり運動中である。

## 從業員に 木炭を贈る

石城郡赤井村福島炭礦地礦業所長は過般同坑がガス爆發により慘死者を出した際從業員多數の救助を求めたので之が謝意の意味で酒宴を催す計劃であつた感、酷暑の折とて木炭一俵宛を贈る事になつた。

## 大倉校造花教授

石城郡赤井村第二小學校では過般般島炭坑の瓦斯爆發のため惨死した河津茂外六名の遺族に對する義捐金募集中の處十九圓余の餘金を見たので十五日夫々生徒に教授してゐるが、尙一般希望者には毎月曜日午後より教授

## 内郷青年總會 橋本校長講演

石城郡内郷村青年團並に處女會總會は十八日午前九時から同村内郷座に開き橋本塾中校長、吉田高坂校長の修養講話がある。

## 青年團總會

相馬郡小高町青年團春季修養會は十四日同町小學校内に開催修養會宣傳部員の講演があつた。

## 小兒が燐寸を弄んでゐたもの 平町で千四件 火氣取締りの不始末に 検査係員も驚く

### 磐城炭礦の 私設消防檢閲

平署では過般平消防組中火防組と協力し平全町二萬七千四百箇所に亘つて嚴密なる火防檢閲をなし督勵する處あつたが、その結果爐の危険なもので注意を與へ若くは説諭したものが千五百八十六件、煙突四百七十件、炬燵八百二十六件、燐寸を小兒が弄んでゐたもの千四件、焚火の始末不完全なもの二百四十二件、火消蓋五百九十二件、作業場の危険場所においたもの百六十件、提灯の危険なもの四百九十二件、灰捨場の危険なもの九百四十三件といふ多數に及んだが、検査した係員はかく

## 藤原強盜の公判 懲役十年を求刑さる

石城郡上遠野村大字上遠野ブツ職上遠野佐次郎(四七)が昨年十一月二十一日午前一時頃磐城村藤原強盜共謀草野義春方に日本刀を携へ強盜に押入り金品を物色せんとした際主人義春に發見され義春と格闘の場同入並に大事を惹き起さなかつた事を重罪なほ至治三周間の傷を負はる驚いてゐる有様で今後益嚴重せし第一回公判は十五日午前十一

## 何が佐次郎を さうさせたか?

傷は日本刀の如き鋭利なものでやられた模様で、室内はケ一面血だらけ、被害者も相格闘したもので、らしく凄惨な氣が溢つて居た。

室内を調べて見ると、燐寸類、手提金庫等を物色した形跡が更に無く、被害者の足跡を見た形跡も認め難い、家庭の事情や室内の様子を知悉して居る者の犯行たるは現場臨検の捜査官の頭に響いた。

## 七十七銀行 撞球大會

平町七十七銀行平支店では十五日午後五時から同店樓上で新年撞球大會を舉行したが、結果左の如くであつた。

## 撞球大會

一等織田 二等松本、三等山田  
▲カッパ 一等白井、二等高木、三等萩原

が、ボンパ試験、礦業所長檢閲後分別式を行ひ小島部長が訓示をなして散會する由である。

犯人は石城郡上遠野村大字上遠野ブツ職上遠野佐次郎(四七)が昨年十一月二十一日午前一時頃磐城村藤原強盜共謀草野義春方に日本刀を携へ強盜に押入り金品を物色せんとした際主人義春に發見され義春と格闘の場同入並に大事を惹き起さなかつた事を重罪なほ至治三周間の傷を負はる驚いてゐる有様で今後益嚴重せし第一回公判は十五日午前十一

各捜査官は明日こそ必ず犯人は我が手で逮捕すると意氣も、刑事課長も現場出張武田檢事と共に協力捜査の指揮に當り捜査官は緊張裡に活動を續けて居た。

廿二日午前十一時五十分突如として植田警察署から武田檢事に強盜犯人は逮捕されたとの報知があつた。

犯人は石城郡上遠野村大字上遠野字澤原一四番地上遠野佐次郎(四七)同族の同姓同家宅捜索の結果、佐次郎が新湯湯生れで石城郡湯本町で銀力職人をして居つて、十年前前婚養子に入り現在七人の子供の父親である。

### 入山炭礦で 蛔虫驅除

湯本町入山炭礦では二十五日從業員家族全部に蛔虫藥を無料で交付し驅除を計る。

### デフテリア發生

四倉町字本町瀬谷安雄(四つ)及び同町仲町高原勝雄(三つ)は同平額賀醫師の診断の結果ジフテリアと決定した。

### 感心な婦人

平町の薄葉さん

人情白紙の如き世に、これはまた奇篤な人……平町新川町巳之松氏妻薄葉かね(五四)さんは大正四年から髮結を髮結さんに頼まぬこととし一人手でたばね髪とすることに改め一ヶ月少くも四度びはなさねばならなかつたこの髮結料を貯蓄し十圓内外を大正十四年から明治節當日は必ず町に寄附してのる、かねさんがこれを實行してから近隣でこれに共鳴し毎月一圓内外づつ貯金してゐる人々が相當に現はれて来た。

### 相馬支局通信

#### ▲小口貨物取扱

郡原町旭町白瀬貨物自動車部は薄利親切をモットーとして一般から氣受けよく營業中であるが今度鹿島、中村方面行きの一箇の貨物をも引受けて迅速に取扱ふと一段の發展振りを示してゐる。

#### ▲南相校長會議

郡南部各小學校會議は二十四日小高小學校に開き明年度各種編

成に關する打合せをなす筈。

#### ▲弓道大會

郷弓道會主催になる第二回大會は十九日午前十時から鹿島驛橋内弓場にて舉行。

#### ▲佛立寺の寒行

郡中村町日蓮宗佛立寺にては寒入りと共に毎夜の寒行は實に驚く程の熱心で白衣のおほひに喇扇大鼓を手にし御名題を唱ひつゝ、百余名の信者に執事荒智廣氏先頭となり行列は珍らしくもまた勇ましいもので中にも同町製糸工女の多数が交り一異彩を放つてゐる、男信者は多く飯豊、磯部、原釜の方面まで修業してゐるので一般に感動を興へてゐる。

#### ▲相馬地方の寒氣

近年稀れに見るこの頃の寒氣は幾分弱味を見せて来たが、十一日から十三日にかけて最も甚だしく中村方面にては零下九度三分を示し水道が全部凍結した程である。

#### ▲聚樂館三の替り

聚樂館歌樂伎名題大一座三の替り藝題左の如し  
▲堀部安兵衛▲重の井子別れ  
▲奥州安達ノ原

## 晒あん

小樽製餡株式會社製  
晒あんの欲点とされてゐる「くさみ」は絶對御座ひません

## 豆

常に優良品を取揃えて置きます

### 平紺屋町 たまき屋

電六七一

共ト存共△  
融金ノ易簡△  
富貯ノ味趣△  
堅ト意誠△

平町支店  
電話二七〇番

二葉印刷所  
平町仲町・電話一九三番

### ろくまく炎特效薬

## 秘方助膜湯

一週間分 貳圓

家傳の方劑にして「ろくまく炎」に奇効あり、下熱、鎮痛、消炎、利尿、強壯等の作用顯著にして醫藥併用等に副作用なく、自宅治療劑として最も適當なり。

特約店  
平町四丁目 小野藥店 植田町 松本藥店  
同三丁目 宇佐美藥店 湯本町 岩瀬藥店  
製劑所 茨城縣下孫 健生堂醫院製劑部



## スポンギン

美味トし 強壯の効 著大

血をふやし 肉を肥やす

定 價  
大瓶 三圓  
小瓶 二圓

代理店  
平山 野邊 角目 藥局

## 外科

一般外科 内臓外科  
性病科 X光線科

入院隨意(自炊の便あり)  
元赤心堂病院跡

## 安齊外科醫院

電話 四七五

佛國マルソー會社元詰

## 生葡萄酒

マルソー・アランク 白 1.10  
マルソー・ルージュ 赤 1.10

良品にして安價賣行飛ぶが如し

## 西村屋藥局

### レコード破りの石炭大特賣

磐城炭礦 二等級炭

## 正味十貫匁一俵金井錢也

「品が良く」「値は安く」をモットーとする當店は、此度超破格の格安石炭を販賣開始します。値が安くとも品は悪くはありません。磐城炭礦の産分的大堀出物です。品物の無くならない中に御注文下さい。

配達は一俵より致します

御注文は  
電話二三七番へ  
平停車場前

## 阿部石炭商店

## 耳鼻咽喉科専門

## 氣管食道科

病室完備：自炊の便あり

平町南町 大和田醫院  
電話一七〇番

平町田町(電話五二三番)

## 高久病院

醫學士 高久 忠  
新瀉醫學士 赤羽 清  
藥劑士 佐竹 菊雄

内科小兒科 外科花柳病科  
耳鼻咽喉科 レントゲン科

## 多田井質店

債券、公債、兩替金融

平町大工町(電話五九一番)